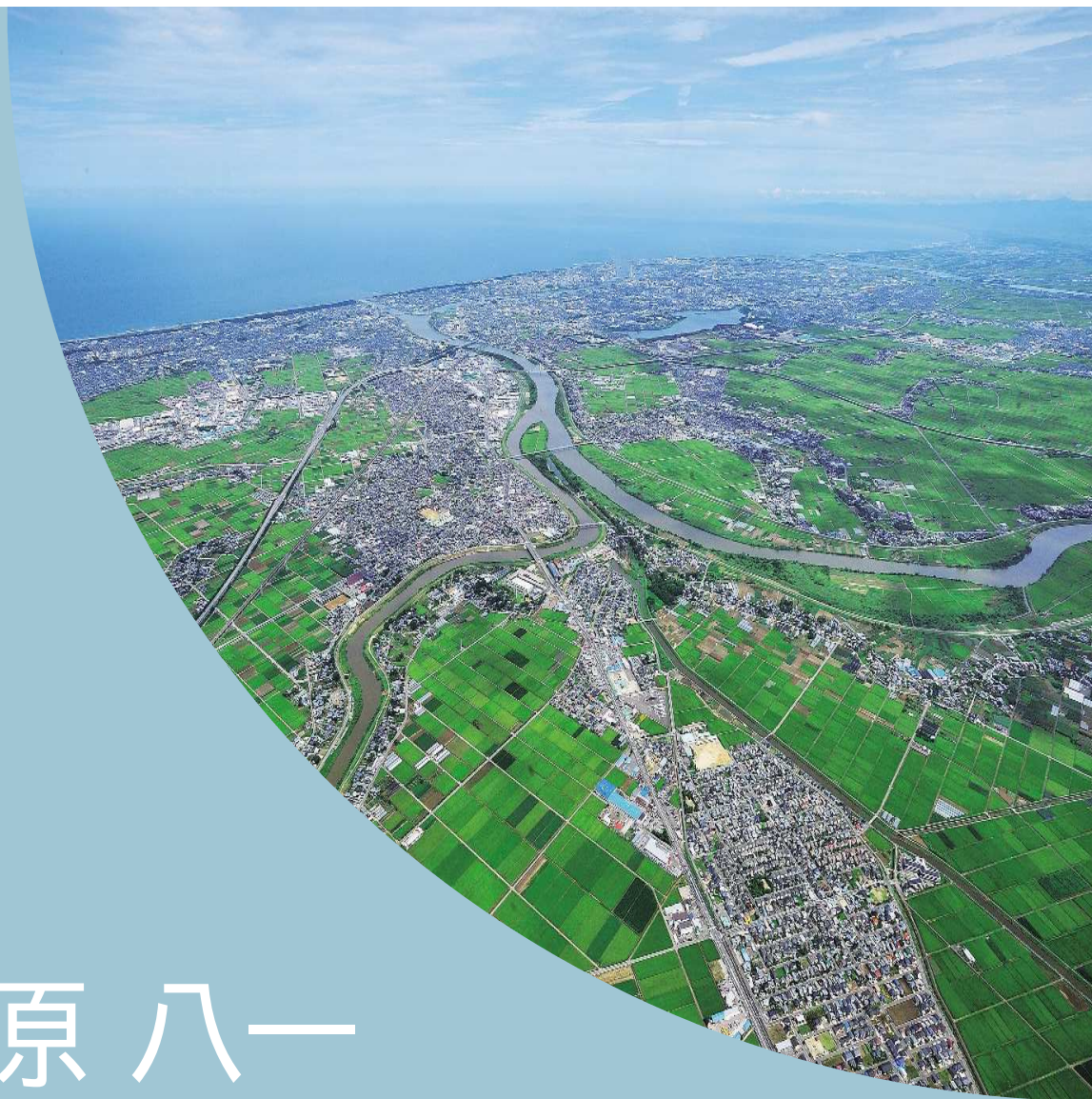


2023 2月・3月
市長と区自治協議会委員との懇談会

新潟市 令和5年度 当初予算案

新潟市長 中原 八一



中原市政2期目 最初の予算編成の力点



■ 予算案における3つの力点

1

活力あふれる
新潟へ

- ・都市機能の充実
- ・拠点性の向上
- ・産業全体の活性化

都市の活力
向上

2

子どもと子育て
にやさしい
新潟へ

- ・経済的、精神的負担の軽減
- ・子どもの権利保障
- ・子育てを地域全体で

住民福祉の
向上

3

活力と魅力あふれる
区づくり
に向けた取組の強化

- ・区独自の課題解決
- ・個性あふれる区づくり
- ・修繕要望への対応

8つのカラー
で成長

選ばれる都市 新潟市



「新潟市総合計画2030」による 新たなまちづくりスタート

計画期間

2023－2030
(令和5年－令和12年)

新潟市総合計画2030の内容は、
本市HPで確認できます。
※冊子は令和5年3月下旬掲載予定



田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市

まちづくりの理念

みんなで新潟市の強みを活かし、人口減少時代に躍進する、

活力あふれるまちづくり

持続可能なまちづくり

を進めます

- 市民の新潟への誇りと愛着を育むとともに、市民や民間事業者を含め、多様な主体とのパートナーシップのもと、新潟市の強みを最大限に活かしながら、総力を挙げて『活力あふれるまちづくり』と『持続可能なまちづくり』に取り組む
- 将来にわたって、新潟市ならではの「心豊かな暮らし」ができるまちの実現を目指し、将来世代へ引き継いでいく

目指す都市像

田園の恵みを感じながら

心豊かに暮らせる 日本海拠点都市

- 目指す都市像の具体的なイメージを、**経済**、**社会**、**環境**の3つの枠組みで整理して掲載
- 官民の共通言語になっているSDGsの枠組みを使って整理することで、目指すイメージを共有し、市民や民間事業者をはじめとする多様な主体との一層の連携・協働を進める



総合計画の進捗を測るため、3層構造の成果指標(数値目標)を設定

目指す都市像

「田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市」

総合
指標

目指す都市像の実現における
進捗を測るための指標

上位の指標に
寄与

政策
指標

目指す都市像の実現や、総合指標の
目標達成を図るうえで、各分野に
おいて特に重視する指標

取組
指標

実施計画に掲載する具体的な取組に
おいて特に重視する指標

総合指標(総合計画の最上位指標)

総合指標① 社会動態(転入及び転出による人口の動き)

現状値	R8中間目標	R12最終目標
714人転出超過	転出超過を解消する	転出超過を解消する

総合指標② 合計特殊出生率

現状値	R8中間目標	R12最終目標
1.33	1.35	1.38

総合指標③ 新潟市に住み続けたい市民の割合

現状値	R8中間目標	R12最終目標
88.2%	90.0%	90.0%

総合指標④ 将来世代のことも大切に持続可能なまちづくりが進んでいると思う市民の割合

現状値	R8中間目標	R12最終目標
21.8%	36.0%	50.0%



県都である新潟市が広く新潟地域の発展をリードし、躍進していくため、「都市の活力向上」と「住民福祉の向上」の持続可能な好循環をつくり出す戦略

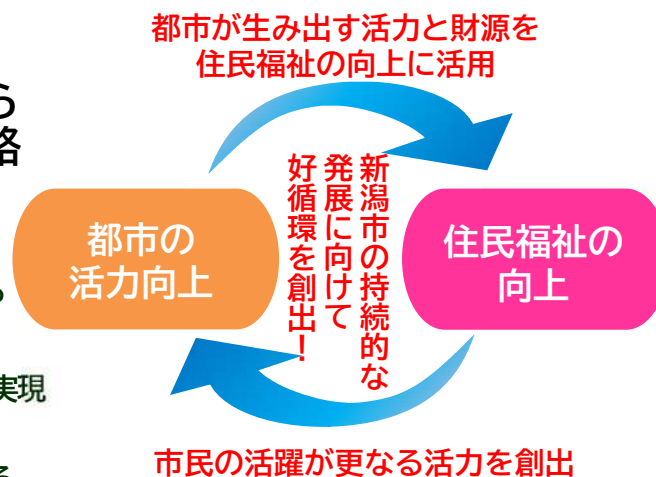
- 市民活躍
- 文化・スポーツ
- 子育て・教育
- 健康・福祉
- 産業・交流
- 安心・安全
- まちづくり・インフラ
- 環境

各分野の政策・施策の中から目指す都市像の実現に大きく貢献する施策を重点化し、総合計画全体を牽引

「重点戦略」

多様な主体と連携・協働しながら総力をあげて展開する10の戦略（政策パッケージ）

- 1 都市機能の充実と拠点性の向上
- 2 地域企業の経営力強化、新たなビジネスや成長産業の創出・育成
- 3 豊富な田園資源を活かした儲かる農業の実現
- 4 魅力と拠点性を活かした交流人口の拡大
- 5 新潟暮らしの魅力発信と多様な支援による移住・定住の促進
- 6 誰もが個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる社会の実現
- 7 子どもと子育てにやさしいまちづくりと新潟の将来を担う人材の育成
- 8 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現
- 9 脱炭素・循環型社会の実現
- 10 安心・安全で災害に強いまちづくり

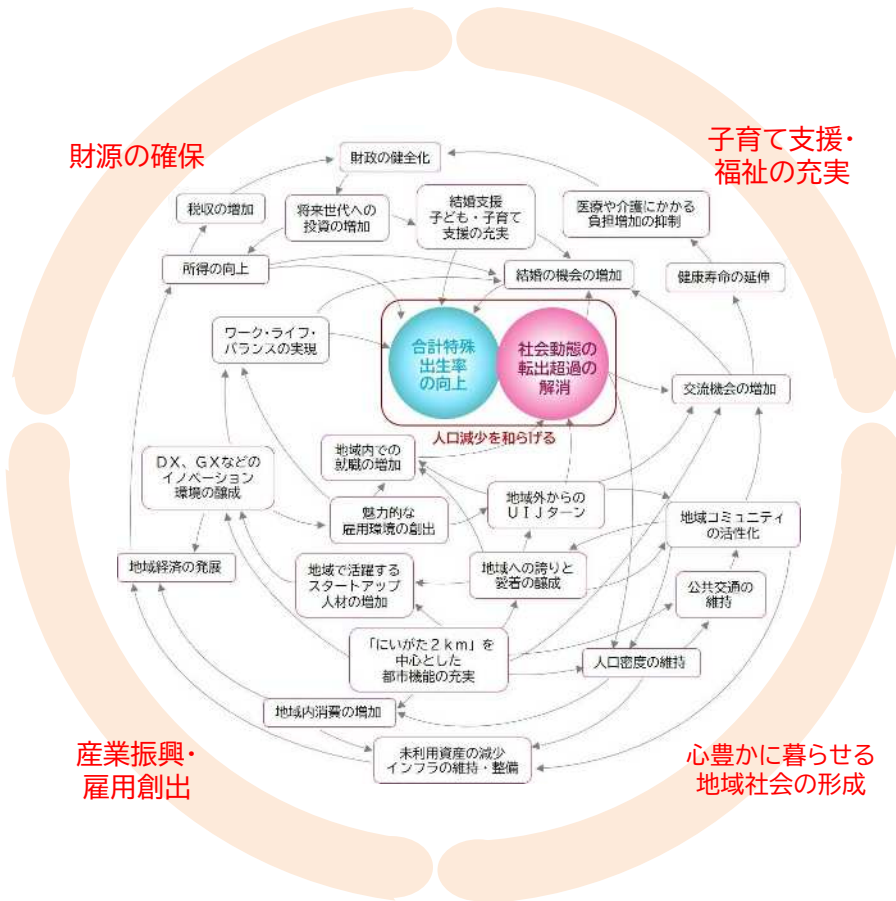


目指す都市像

『田園の恵みを感じながら心豊かに暮らせる日本海拠点都市』

重点戦略を中心とした施策の総動員により人口減少を和らげる

人口減少を和らげるイメージ図



- 人口減少の要因は複雑に絡み合っており、一つの施策によって状況が大きく改善するものではないため、あらゆる政策を総動員し、点ではなく面に対応する必要がある
- 10の重点戦略を中心に、各分野の政策・施策を一体的に推進することで、都市の活力向上と住民福祉の向上の好循環を創出する



好循環の創出によって、総合指標に掲げる

社会動態の転出超過の解消

合計特殊出生率の向上

につなげ、人口減少を和らげる

区におけるまちづくりの方向性

地域の特性を活かした活力と魅力あふれる区づくりを進められるよう、まちづくりの多様な主体と一体となって、区政を推進していく



- 8つの区は、それぞれの地域を形づくってきた歴史と固有の文化、地域資源や産業など、様々な特色と魅力にあふれている
- それぞれの区を持つ特色と魅力が集合体として一つになることで、「都市と田園の調和によりもたらされる暮らしやすさ」をはじめ、新潟市の「強み」を生み出している
- これまで以上に区の特徴を前面に押し出しながら、地域の特性を活かした活力と魅力あふれる区づくりを進められるよう、必要な予算や権限を持つ自治制の高い区役所を目指し、まちづくりの多様な主体と一体となって、区政を推進していく

福島潟
(北区)



こい来いフェスタ
(東区)



ミズベリング
(中央区)



亀田縞
(江南区)



秋葉丘陵
(秋葉区)



白根大凧
(南区)



佐潟まつり
(西区)



わらアートまつり
(西蒲区)



令和5年度当初予算案の概要



	令和5年度	令和4年度	増減	
一般会計 当初予算	過去最大 3,977億円	3,922億円	+55億円	+1.4%

1 活力あふれる新潟へ

- ✓ 「にいがた2km」に関する取組(西堀通5番町地区第一種市街地再開発事業への支援 など)
- ✓ 移住・定住促進の取組(テレワーカーなど移住者を呼び込む仕組みづくり など)

対前年度比 5.0億円増
対前年度比 0.7億円増

2 子どもと子育てにやさしい新潟へ

- ✓ 妊娠・出産・子育て3施策(妊産婦医療費助成の所得制限の撤廃 など)

対前年度比 3.0億円増

3 活力と魅力あふれる区づくりに向けた取組の強化

- ✓ 区長提案事業により各区の課題解決を加速
- ✓ 西蒲区役所新庁舎整備事業に着手

5.1億円 (新規)

その他

- ✓ 普通建設事業費(新潟駅直下バスターミナルの供用開始、学校の特別教室における空調整備 など)

約390億円 (前年度比+58.7億円)



全体予算規模

- 全会計の総額は約7,827億円、1.2%の増加

	令和5年度	令和4年度	増減	
一般会計	3,977億円	3,922億円	+55億円	+1.4%
特別会計	2,539億円	2,541億円	▲2億円	▲0.1%
企業会計	1,311億円	1,275億円	+36億円	+2.8%
合計	7,827億円	7,738億円	+89億円	+1.2%

市債残高

- 令和5年度末見込 約3,656億円 ※臨時財政対策債除く
対前年度比 ▲48億円

基金残高

- 主要3基金[※]の維持確保(6年連続収支均衡予算)

令和3年度末実績	令和4年度末見込	令和5年度末見込
107.8億円	95.3億円	95.3億円

※主要3基金:財政調整基金・都市整備基金・市債管理基金

財政基盤の強化に向けた不断の見直し

- 職員数の適正化 ▲71人
- 事業の見直し 約 ▲12億円 (ホストコンピューターの廃止 ▲2.8億円など)



これまでの取組

- ・「選ばれる都市 新潟市」の公表(R3.2)
- ・都心のまちづくり推進本部の設置(R3.4)
- ・都市再生緊急整備地域の指定(R3.9)
- ・都心のまちづくり【「にいがた2km」の覚醒】の公表(R4.2)



- ・新潟駅周辺整備が着実に進み、南北市街地の一体化が迫る
(R5.3月に歩道、R5年度中にバスターミナルの供用開始)
- ・活発化する企業進出
- ・G7会合開催により世界から注目が集まる



R5主な新規・拡充の取組

活力あふれる新潟へ

「にいがた2km」を活力向上の「成長エンジン」に

● 企業誘致のさらなる推進

- ・市内のビジネス環境を体験する機会を提供するなど、新たな手法で誘致を推進
- ・企業の本社機能誘致に向けた支援を政令市トップクラスに拡充

● 都市機能の充実と魅力向上

- ・【ハード】新潟駅周辺整備の着実な実施と将来を見据えた開発等の着手へ
新潟駅周辺整備：駅直下バスターミナル供用開始、高架下駐輪場の整備着手 など
将来を見据えた開発等の着手：西堀通5番町地区(旧新潟三越周辺)再開発、(仮称)バスタ新潟の整備 など
- ・【ソフト】民間と連携・協働し、まちの魅力向上や8区との連携を推進
にいがた2kmと8区の魅力を高め発信する事業などへの支援や、古町花街地区の歴史的街並みの保存に向けた助成 など

● まちなかの賑わい創出

- ・にいがた2km食花マルシェ、緑のまちなか空間の創造
東大通「人中心の空間づくり」 など

首都圏からの誘致企業



田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市

これからの時代を支える成長産業の育成強化

● DX・GXによる新たなビジネスへの支援を強化

- ・DX^{※1}の推進と新規事業開発に向け共創によるイノベーションの創出を推進
- ・XR^{※2}などの新技術を活用した新たなビジネスの創出を支援
- ・GX^{※3}実証事業への取組を支援

※1 DX:データとデジタル技術を活用して、ビジネスモデルや業務、組織などを変革し、競争上の優位を確立すること

※2 XR:VR(仮想現実)、AR(拡張現実)などの仮想空間上の表現技術の総称

※3 GX:環境問題を先進技術の力で解決することを通じて産業構造や社会システム全体を変革すること



新潟の強み 若者から選ばれる「儲かる農業」へ

● 新規就農者を支援

- ・栽培技術向上、経営安定化に向け伴走型支援を実施
- ・新たに親元等で就農する農業者へ支援

● 農産物の販路開拓・販売促進

- ・国内、海外に向け、県や生産者との連携でプロモーションを実施



好機を活かし さらなる活力の向上

● 働き方や暮らし方の変化をふまえた 移住促進・関係人口創出

- ・地域おこし協力隊を活用し、テレワーカーなどの移住者を呼び込む仕組みを構築
- ・市外の副業人材等と市内企業・団体とのマッチング

● 新潟への注目の集まりを活かした交流人口の拡大

- ・G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議の開催により、本市の拠点性やホスピタリティをアピール
- ・佐渡市との連携などにより誘客活動を積極的に展開
- ・60年ぶりにリニューアルされる新潟駅の構内に新しい観光案内センターを整備
- ・新潟空港将来ビジョンの策定を見据え、空港周辺道路の調査や検討を実施

市主催の移住セミナー



佐渡市との新たな誘客交流連携協定(R4.6)



これまでの取組

- ・こども医療費助成を2回にわたり拡充(H31.4・R3.4)
- ・病児・病後児保育施設を全区に展開(R2.3)
- ・コミュニティ・スクールを全校で実施(R4.4)
- ・保育コンシェルジュ・子ども家庭総合支援拠点を全区設置(R4.4)



- ・本市の令和3年の合計特殊出生率が28年ぶりに全国の値を上回る(全国1.30 新潟市1.33)など、一定の成果
- ・子育て世帯の経済的・精神的負担の軽減が求められている
- ・豊かな子どもの育ちを地域と一体となって推進



R5主な新規・拡充の取組

子どもと子育てにやさしい新潟へ

心身ともに安心して妊娠・出産・産後を過ごせるように

- 妊産婦医療費助成の所得制限を撤廃

所得税非課税世帯のみ→全ての妊産婦を医療費助成の対象に

- 産後ケアへの助成を政令市トップレベルに拡充

安心して産後ケアを受けられるよう利用料金を引き下げ

多子世帯の経済的負担をさらに軽減

- 第3子以降の保育料等軽減制度を拡充

要望の多い高校3年生までの子どもを多子計算の対象に追加
(多子軽減計算の対象とするきょうだいの年齢上限を
小学3年生→高校3年生)



すべての子どもが豊かな子ども期を過ごせるために

新潟市子ども条例パンフレット
(小学生向け・中高生向け・大人向け)

● 新潟市子ども条例に基づく施策の推進

- ・子どもからの相談体制を充実させ、子どもの権利擁護や意見表明及び社会参加を促進

● ヤングケアラー・コーディネーターを新たに配置

- ・ヤングケアラーへの理解促進のほか、当事者や家庭を適切な福祉サービスにつなぐ機能を強化するため、ヤングケアラー・コーディネーターを配置

● 配慮が必要な子どもへ切れ目ない支援体制を整備

- ・配慮を要する児童等への個別の教育支援計画等作成を支援するシステムを導入

● ICTを活用し、こどもたちの安心・安全対策を強化

- ・保育園等の安全対策、事故防止対策に必要なICT機器の導入を補助



新潟市子育て応援キャラクター
ほのわちゃん



田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市

子どもは社会の宝 子どもたちの豊かな育ちを地域と一体となって推進

● 地域との連携による開かれた学びの推進

- ・コミュニティ・スクール講座の開催による人材の育成、機能の充実を推進
- ・部活動の地域移行に向けて、運営団体の充実、指導者の配置等を支援
- ・市立高校等において、地域との連携のもと行う「探究的な学習」を充実

● 地域の文化・歴史を体験する機会を創出

- ・民間事業者や教育機関からご協力いただき、子どもたちが新潟市の文化や歴史を体験できるツアー形式プログラムを実施

● 子育てを応援するまちづくりの推進

- ・すこやかパスポート協賛店や赤ちゃんの駅登録店などの民間事業者等と連携し、子育てにやさしい新潟市としての機運醸成や子育て情報の発信を強化

学校運営協議会における地域と小中学生の話し合い



民間事業者によるSDGs出前授業



8区の歴史や文化、産業などの特色を活かし、
8つのカラーで成長し続ける新潟を目指し、区の予算と権限を拡大

1 もっと！ 各区の課題解決を加速 ～区長提案を積極的に予算化～

新規

23～30ページ掲載の区の事業のうち、該当するものを左記のように表記しています。

○各区における課題の解決に向けた事業：5億1千万円

- 北区 海辺の森の賑わいを創出
豊栄木崎野球場の環境整備
- 東区 山の下みなとランド遊具更新
東区役所前横断歩道橋の撤去解体
- 中央区 日和山浜の魅力を創出
西海岸公園多目的広場の拡張整備
- 江南区 商・農・福の連携を推進
- 秋葉区 子どもの遊び場づくり
新津川遊歩道などの利用促進
秋葉丘陵遊歩道の案内サイン整備
地域防災行政無線の整備
- 南区 緊急排水ポンプ整備
- 西区 新潟大学前駅地下道エレベーター整備
西区NEWスタイルウォーキング遊歩道の環境整備
- 西蒲区 にしかんワーキングツーリズムの実施

○各区の取組を後押しする事業：2千万円

- 地域で活躍する多様な人材ネットワーク化事業(政策企画部) 400万円
・勉強会やワークショップを通じ、人材同士のネットワークを強化
- まちづくりパートナーシップ事業(市民生活部) 1,630万円
・区が抱える地域課題等の解決に向け、民間企業等から提案を募集し、提案者との協働により事業を実施

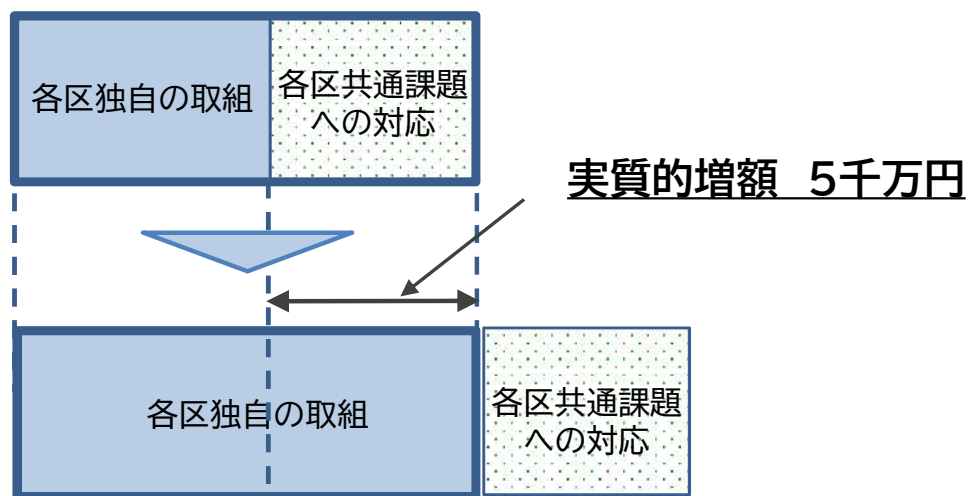


2 もっと！ 8区の特徴を活かしたまちづくりを ～特色ある区づくり予算の実質的増額～

新規

拡充

23～30ページ掲載の区の事業のうち、該当するものを左記のように表記しています。



活力と魅力あふれる
区づくりをさらに推進します



3 もっと！ 修繕要望に応えます ～緊急対応予算の拡充～

8区の緊急対応予算 2億6,250万円 （前年度比 1.5倍 8,750万円増）



田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市

未来へ続く活力あるまち

新規 産学官まちなかりノベ事業

・まちなかの活性化を図るため、産学官の連携により生まれる様々なアイデアを集約し、
空き店舗活用などの取組を推進

自然の魅力輝くまち

新規 海辺の森賑わい創出事業

・自然環境を活かした観光資源充実のため、第2展望塔に水道施設などの基盤を整備

新規 水辺ふるさとづくり事業

・ふるさとへの愛着を育み次世代の担い手を育成するため、地域が取り組む自然観察会や
保全活動を支援

いきいきと心豊かに暮らせるまち

新規 スクスクきたっこプロジェクト

・子どもが健やかで心豊かに過ごせる地域の取組を推進するため、地域団体とともに
多世代交流カフェや子育て応援イベントを開催

新規 豊栄木崎野球場環境整備事業

・利用者の安全性と快適性を向上させるため、バックスクリーンなどを整備

海辺の森キャンプ場



地域団体の活動(ベビーマッサージ)



活力ある産業と地域の魅力を活かしてにぎわうまち

新規 産業のまち東区「オープンファクトリー」

・ものが生まれる現場を公開し「ものづくり」と「ものづくりのまち」の魅力を伝えるオープンファクトリーの開催を支援し、区内外に多様な産業の魅力を発信

工場夜景バスツアー

・多様な観光資源の認知度向上を図るため、工場夜景を核としたバスツアーを実施

新規 地域と水辺と共生プロジェクト

・地域への愛着の醸成やにぎわいの創出を図るため、じゅんさい池や通船川などを含む東区の水辺環境の魅力について、地域と連携しながら発信

だれもが互いに学び合い、共に育つまち

新規 東区2km子育てトライアングル魅力発信

・2kmの距離で結ばれた主要子育て施設「い～てらす」「こども創作活動館」「わいわいひろば」の効果的な情報・魅力発信の機会として「東区こども文化祭」を開催

その他主な事業

新規 山の下みなとランド遊具更新事業

・山の下地区のにぎわい創出・活性化の拠点である同公園の大型複合遊具について、地域とともに子育て世代などの視点を含め公園の利活用を検討し更新に反映

産業のまち「工場夜景」



山の下みなとランド



8区の活力・魅力

中央区

にぎわう都心、豊かな自然、
みなとまち文化が織りなす活気あふれる拠点のまち

賑わいと活力あふれ訪れたいくなる拠点のまち

新規 日如山浜魅力創出事業

・日如山浜を活用した魅力・賑わい創出のため、イベントの開催や駐車場・公園遊具の整備などを実施

新規 西海岸公園多目的広場拡張整備事業

・西海岸公園の認知度向上・利用促進・賑わい創出のため、ストリートバスケットコート等の拡張整備を実施

新規 ぐるっとサイクルツーリズム事業

・「にいがた2kmシェアサイクル」を活用し、にいがた2kmエリア近郊エリアへの誘客を推進

日如山浜でのイベント



共につながり安心して暮らせるまち

新規 認知症地域支えあい推進事業

・認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのため、啓発や支援を実施

水と緑に囲まれた自然と都市が共生するまち

新規 都市公園活性化事業

・地域や公園の特性を活かすとともに、障がいの有無にかかわらず誰もが使いやすくなるよう検討し、都市公園の魅力を創出

車いす用遊具など



田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市

8区の活力・魅力

江南区

緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち

自然環境と都市機能を活かした快適に暮らせるまち

拡充 いい汗 いい食 江南健幸ライド

- ・サイクリングロードを活用し、健康づくりの推進と交流人口の拡大を目的にサイクリングイベントを開催
- ・路面標示や案内板設置など自転車走行環境を改善

人と人とのつながりを大切にする安心・安全なまち

新規 江南区商・農・福連携推進事業

- ・商・農業者と障がい福祉事務所とのマッチングの仕組みを構築し、仕事の受注や魅力ある授産品の開発および販路拡大を促進

産業と地域の魅力が輝くまち

新規 江南区まるごとプロモーション

- ・農産物や観光資源等を一体的にプロモーションするとともに、その推進に向けた農商工や官民の連携を促進

人が輝き文化が育まれ健やかに過ごせるまち

拡充 文化芸術の創造・発信

- ・江南区文化会館において、独創性に富んだ質の高い文化芸術公演を開催
- ・区民に多様な文化芸術に触れる機会を提供

授産品の展示販売



かめだ梅の花めぐり



田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市

8区の活力・魅力

秋葉区

里山と水に囲まれて
花と緑あふれる 笑顔咲きそろうまち

環境に配慮した潤いとやすらぎのあるまち

新規 秋葉丘陵遊歩道案内サイン整備

・秋葉丘陵にある「木もれ陽の遊歩道」案内サインについてデザインの統一（英字表記含む）など、更新及び新設を実施

新規 廃止石油坑井封鎖

・未封鎖の廃止石油坑井から湧出する石油の河川への流出防止に向け、事前調査を実施

歴史と個性を活かすまち

拡充 アキハ「鉄道物語」

・まちなかの活性化と交流人口の拡大を図るため、マッチング🔴トレインを鉄道事業者と運行するとともに、鉄道に関連した取組を区民や商店街などと連携を図りながら推進

可能性を生み出し・育て・活かすまち

拡充 アキハスムプロジェクト Vol.3

・ワーキングスペースの開設や移住コンシェルジュの設置など移住・定住のための仕組みづくりを推進

自治協提案事業

新規 地域コミュニティ協議会の未来ビジョン策定支援

・区自治協議会が主体となって区内の全地域コミュニティ協議会及び区と連携して、地域の未来ビジョンを策定（幸福度調査、区ビジョンへの提言に続く地域への伴走支援）

オンライン移住相談会



Akihaマウンテンプレーパーク



田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市

ともに築く安心に支えられるまち

新規 緊急排水ポンプ整備事業

・ゲリラ豪雨による浸水被害の軽減に向け、移動式の緊急排水ポンプを整備

やさしさの輪が広がり、誰もが主役として活躍できるまち

新規 児童館利用促進事業 Go To 児童館

・児童館の魅力発信・利用促進を図るため「移動児童館」の取組を拡大

地域の宝に気づき、守り、魅力あふれるまち

拡充 LIVE! at 白根大凧合戦

・ドローンによる迫力ある映像を凧合戦会場からライブ配信し、白根大凧合戦と南区をPR

拡充 未来につなぐ文化プロジェクト

・地元コミ協と連携したイベント等を実施し、旧笹川家住宅の魅力をPR
・区のイメージアップに向け、区のオリジナルキャラクター「凧っこ13人衆」を活用してPR

児童館での活動



白根大凧合戦



区民が主役の活力あるまち

新規 **にしく2040会議(仮称)**

・2040年に想定される変化や課題を見据え、西区の将来を主体的に考え、対応策を実践できる若手委員を中心とした組織づくりと支援を実施

新規 **西区デジタルコンテンツ活用事業**

・区が抱える課題の解決や、区民の皆様の利便性の向上を目的に、eスポーツなどのデジタルコンテンツを活用した事業を実施

その他主な事業

新規 **新潟大学前駅地下道エレベーター整備事業**

・バリアフリー化対策として、JR越後線新潟大学前駅に隣接する地下道内にエレベーターを設置するため、概略設計に着手

新規 **西区NEWスタイルウォーキング遊歩道環境整備事業**

・利用者の利便性向上のため、電鉄線の跡地を利用して整備した遊歩道「オレンジロード」と、西川沿いに整備した遊歩道「西川ふれあいロード」に公衆トイレを設置

若手委員による会議(イメージ)



eスポーツの活用(イメージ)



人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち

新規 西蒲区移住等促進事業

- ・人口流入を促進するため、新たな観光スタイルであるワーケーションを推進するとともに、空き家の利活用についての調査・研究

観光とスポーツ・レクリエーションのまち

新潟空港からの二次交通整備事業

- ・空港などを利用する観光客の誘客を図るため、新潟空港などから岩室温泉および新潟ワインコーストを目的地とする乗合タクシーを運行

にしかん観光周遊バス運行事業

- ・区内の観光施設への周遊性の向上を促進するため、角田山麓・岩室温泉等の魅力あふれる観光資源をめぐる周遊バスを運行

その他主な事業

新規 にしかんワーキングツーリズム事業

- ・農業者等と農業や地域に関心がある方が出会えるマッチングサイトで、就労者を募り、人手不足の解消を図るとともに、リピーターを増やし、将来の移住につなげる

新規 西蒲区役所新庁舎整備事業

- ・防災拠点機能を持つ新庁舎整備に向けて、基本構想を策定

観光地を周遊する「ぐる～んバス」



農業等に従事するとともに地域の魅力に触れる



令和5年度当初予算案 主な事業

① 総合計画2030 10の重点戦略の推進



10の重点戦略

1 都市機能の充実と拠点性の向上

10の重点戦略については、
7ページ参照

政策指標

都心エリアの平均地価変動率

現状値	R8中間目標	R12最終目標
前年比+0.9%	前年比+2.0%	前年比+2.0%

港、空港、新潟駅、高速道路などの広域交通インフラの利便性が以前と比べて向上していると思う市民の割合

現状値	R8中間目標	R12最終目標
31.1%	35.6%	40.0%

拠点機能の充実・強化

新潟駅周辺地区の整備

・日本海拠点都市としての都市機能強化を図るため、連続立体交差事業や幹線道路及び駅前広場の整備を促進

都心部の戦略的な再開発促進

市街地再開発事業等の促進

・都市再生緊急整備地域の規制緩和等の活用、市街地再開発事業、優良建築物等整備事業等の補助事業を活用し、民間開発事業を促進

戦略的な企業立地・誘致の推進

新規 企業誘致促進事業@新潟サテライトオフィス

・首都圏等に本社を置く企業を対象に、本市のビジネス環境を体験する機会の提供、市内企業や教育機関とのマッチングなど、事業活動への支援により更なる企業誘致を推進

新潟の個性・魅力と拠点性を活かした誘客の促進

G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議開催推進事業

・会議が円滑に開催されるよう、G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議開催推進協議会が中心となり、県民・市民とともに協力・支援を行い、新潟の様々な魅力を発信

新潟駅万代広場 完成イメージ



さあ、新潟を世界へ。



田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市

新潟の農水産物と食文化を全国に発信

拡充 にいがた2km食花マルシェ

・生産者や専門学校、障がい者団体等と連携し、8区の食や花の魅力を発信する食花マルシェを開催

人中心のウォーカブルな空間形成

新規 にいがた2km魅力創造・8区連携支援補助金

・にいがた2kmエリアにおいて新たな魅力やビジネスを創造する事業、「にいがた2km×8区連携」の促進に寄与する事業等へ補助

拡充 新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン推進事業

・新潟駅・万代地区周辺将来ビジョンの具現化に向け、エリアの特性調査や機運醸成イベントの開催など、エリアプラットフォームの活動へ支援

拡充 東大通“人中心の空間づくり”推進事業

・公民連携による人中心の空間づくり社会実験を実施

拡充 緑のまちなか空間創造事業

・花や緑の装飾をまちなかで実施するほか、民有地でビル所有者等が行う緑化費用の一部を支援

東大通の社会実験でのミニマルシェの開催



まちなかを花と緑で装飾
(令和4年度 にいがた2kmフラワーフェスタ)



10の重点戦略

2 地域企業の経営力強化、新たなビジネスや成長産業の創出・育成

政策指標

一人当たり市民所得(市民経済計算による一人当たり市民所得)		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
3,025千円	3,179千円	3,340千円

職業を理由とした県外との転出入数		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
2,008人転出超過	転出超過の縮小	転出超過の縮小

地域経済の持続的発展に向けた取組

拡充 つながる商店街支援事業

・商店街による、商店街エリアの集客や消費促進、賑わい創出を図るための取組を支援するとともに、複数の商店街等による連携を推進

デジタル化・脱炭素化による競争力強化

デジタル技術活用促進補助金

・市内中小企業がデジタル技術の活用により付加価値及び生産性の向上を図る新たな取組を支援

中小企業生産性向上・グリーン設備投資補助金

・中小企業の実業生産性向上に加え、生産工程における二酸化炭素排出量削減など脱炭素に向けた取組に資する設備投資へ支援

社会の変化を見据えた新規事業創出の支援

拡充 DXプラットフォーム推進事業

・共創によるイノベーションを創出するDXプラットフォームを通じて、新事業開発を支援するとともに、事業化に向けた実証実験に係る経費を補助

新規 NIIGATA XR プロジェクト推進事業

・VR、ARなどのXRを活用した新たなビジネスを創出するため、基盤となる3D都市モデルを整備するとともに、企業がXRを活用したサービスを実装する際の経費を補助

戦略的な企業立地・誘致の推進

拡充 本社機能施設立地促進事業補助金

・業種を問わず本社機能の誘致を推進するため、令和5年度より補助内容を政令市トップクラスに拡充

XRを活用したサービス創出プログラムの実施



10の重点戦略

3 豊富な田園資源を活かした儲かる農業の実現

政策指標

農業産出額推計値		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
全体569.9億円 うち園芸196.1億円	全体571.4億円 うち園芸211.1億円	全体573.0億円 うち園芸223.0億円

新潟市の農水産物などに対して誇りや愛着を持つ市民の割合

現状値	R8中間目標	R12最終目標
86.9%	90.0%	90.0%

新たな需要に応える農産物の生産体制の強化

拡充 元気な農業応援事業

・農業経営の複合化、規模拡大、経営改善等の取組を支援するとともに、園芸産地への支援を実施

所得拡大に向けた販売力の強化

拡充 農産物販売力強化促進事業

・県や生産者と連携して、首都圏をはじめとする国内や海外向けの販路を開拓し販売を促進

意欲ある担い手等の確保・育成

新規 にいがたagribase事業

・栽培技術向上、経営安定化等に向けた新規就農者への伴走型の支援のほか、新たに親元等で就農する農業者へ支援

食と農への理解促進とシビックプライドの醸成

拡充 食と農のわくわくSDGs学習推進事業

・主に小学校高学年～専門学校・大学を対象とした、食と農に関する新たな学習プログラムを作成



ドローンを活用した米作り体験学習



田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市

10の重点戦略

4 魅力と拠点性を活かした交流人口の拡大

政策指標

延べ宿泊者数		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
日本人172.8万人泊 外国人0.4万人泊	日本人227.2万人泊 外国人9.2万人泊	日本人230.0万人泊 外国人18.0万人泊

観光入込客数		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
1,169万人	1,925万人	2,045万人

持続可能な観光の推進とおもてなし態勢の強化

新しいスタイルの観光推進

・持続可能な観光に向け、官民一体の新潟市新しい観光スタイル推進協議会を中心として、SDGsプログラムを活用した修学旅行の誘致など、ポストコロナに適した観光スタイルを構築・推進

観光客おもてなし態勢の充実

・来訪者の満足度向上や再訪の促進につなげるため、みなとまち文化が育んだ古町芸妓や食文化などを生かした体験型コンテンツの創出・魅力向上を支援

新潟の個性・魅力と拠点性を活かした誘客の促進

観光資源・観光イベントの充実

・新潟まつりやにいがた総おどり、酒の陣など、本市の魅力発信や交流人口拡大に資する観光イベントの開催を支援するほか、令和4年度に多くの子ども・若者が参加した「新潟まつり市民参画プロジェクト」の継続実施を支援

MICE誘致推進

・各種会合やスポーツ大会の主催者等に対し、開催補助金をはじめとする充実した支援制度を有することや、食、みなとまち文化、豊かな自然といった本市の魅力を積極的にアピールすることで、経済波及効果の大きいMICE誘致を推進

新規

佐渡連携誘客事業

・「佐渡島の金山」の世界遺産登録を見据え、佐渡・新潟エリアとしての一体的な周遊や、来訪者の満足度向上、消費行動の活性化、滞在期間の延長などを促す仕組みの構築に、佐渡市や交通・宿泊業などの関係者と連携した取組を実施

古町芸妓



佐渡島の金山



田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市

10の重点戦略

5 新潟暮らしの魅力発信と多様な支援による移住・定住の促進

政策指標

職業を理由とした県外との転出入数		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
2,008人転出超過	転出超過の縮小	転出超過の縮小

大学等新規学卒者の県内就職率		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
58.8%	前年度実績以上	前年度実績以上

移住・定住(UIJターン)の促進

新規 テレワーカー移住・定住促進事業

・本市でのテレワーク体験を通じた情報発信等により、テレワーカー移住者を本市に呼び込むとともに、テレワーカーのコミュニティを構築し、移住者が移住者をさらに呼び込む仕組みづくりを推進

移住促進特別支援事業

・三大都市圏から本市へ一定要件を満たして移住した方に、支援金を交付

市内への就労促進

新規採用活動支援事業

・自社の採用ホームページ等を活用して魅力を発信する企業への補助金の交付のほか、リクルーターの養成講座やインターンシッププログラム構築のためのコンサルティングへ支援

関係人口の創出

新規 副業関係人口創出事業

・市外の副業人材等と市内の企業・団体が抱える課題とのマッチングを促進し、課題解決プロジェクトの実施などを通じて関係人口を創出

テレワークをする移住者



10の重点戦略

6 誰もが個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる社会の実現

政策指標

地域活動に参加した経験のある市民の割合		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
36.0%	44.0%	50.0%

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられると思う高齢者の割合		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
79.3%	80.0%	80.0%

地域団体・市民団体の活動支援

新規

まちづくりパートナーシップ事業

・区が抱える地域課題等の解決に向け、民間企業等から提案を募集し、提案者との協働により事業を実施

新規

地域で活躍する多様な人材ネットワーク化事業

・地域で活躍する多様な人材を発掘するとともに、人材同士のネットワークを強化するため、各区が勉強会やワークショップを開催

持続可能なコミュニティづくり

新規

地域力UPチャレンジ事業

・地域コミュニティ協議会等が、地域課題の解決に向け持続的に活動できるよう、多様な主体とのワークショップなどを通じた人づくりにより、地域力の向上を図る取組を推進

介護予防・健康づくり・社会参加の推進

拡充

フレイル予防事業

・フレイルチェックを活用したフレイル予防を全区で実施するとともに運営体制を強化

治療と社会参加の両立

新規

がん患者アピアランスサポート事業

・がん患者の外見(アピアランス)の変化を補完するウィッグ、胸部補整具などの購入費用を助成

地域の人材による学校支援活動



フレイルチェック



10の重点戦略

7 子どもと子育てにやさしいまちづくりと新潟の将来を担う人材の育成

政策指標

夫婦が実際にもつ予定の子どもの人数		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
2.21人	2.24人	2.27人

地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
小6 59.3% 中3 46.9%	小6 64.0% 中3 52.0%	小6 69.0% 中3 57.0%

出会い・結婚に対する支援

拡充 出会い・結婚サポート事業

・民間の出会いの場の創出を支援するとともに、協賛店で様々なサービスを受けられる結婚応援結パスポートを、結婚予定又は新婚カップルに配布し、地域を挙げて結婚を応援する機運を醸成

妊娠・出産・子育て期の包括的な支援

拡充 新潟市産後ケア事業

・産婦及び乳児に、産後の母体管理、沐浴等の必要な保健指導を実施することで、子どもを産み育てやすい体制を整備するとともに、令和5年度から利用料金の引き下げを実施

拡充 妊産婦医療費助成

・妊産婦への医療費の助成について、令和5年度から所得制限を撤廃し、対象者を市内の全妊産婦へ拡充

出産・子育て応援事業

・妊娠期から出産・子育てまでの伴走型の相談支援を充実させるとともに、妊娠届出後、出生届出後に各5万円の経済的支援を一体的に実施

良好な教育・保育環境の確保と質の向上

拡充 多子世帯の保育料等軽減事業

・多子世帯への市独自の保育料等軽減について、新たに第3子以降の保育料等無償の対象上限を拡大

産後ケア(沐浴)



田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市

良好な教育・保育環境の確保と質の向上

拡充 こどもの安心・安全対策支援事業

・ICT等を活用した見守り支援などの安全対策や、睡眠中の事故防止対策に必要な機器の導入費補助を新たに実施

拡充 保育園等ICT化推進事業

・保育の周辺業務や補助業務に係る業務システムについて、私立園に加え、令和5年度から市立園への導入を推進

新規 特別教室空調設置事業

・良好な教育環境を確保するため、すべての特別教室へ空調設置を拡大

子どもの貧困対策と困難を抱える子どもへの支援

新規 ヤングケアラー支援体制整備事業

・子ども自身や保護者・支援者などのヤングケアラーへの理解促進を図るとともに、当事者やその家庭を適切な福祉サービスにつなぐ機能の強化としてヤングケアラー・コーディネーターを配置

配慮が必要な子どもや家族への支援

新規 医療的ケア児保育支援事業

・保育園等において医療的ケア児の受入れを可能とするための体制を整備

自己実現していく力の育成

新規 探究学習推進事業

・市立高等学校等の魅力化・特色化を図るとともに、将来の市内就労やUIJターンにつながるよう、地元への誇りと愛着の醸成を図るため、市立高等学校等の探究的な学習の充実に向けた取組を実施



探究的な学習



豊かな心と健やかな身体の育成

拡充 個別の教育支援サポート事業

・配慮を要する幼児児童生徒への就学前から社会参加までの切れ目ない支援体制の整備に向け、個別の教育支援計画等についての作成支援システムを市立学校園へ導入

安心して学べる環境づくり

拡充 奨学金貸付事業

・返還免除期間の制限を撤廃することで、若者の定住と経済的支援を推進

文化芸術の鑑賞・体験機会の創出

新規 子ども向け文化プログラム体験事業

・子どもたちの、本市の文化や歴史等への興味・関心を醸成するため、まちなかの文化・歴史に着目したツアー形式の体験プログラムを実施

地域と学校・社会教育施設の協働

新規 部活動の地域移行支援事業

・部活動の地域移行に向け、運営団体の充実、指導者の配置支援、参加者費用の負担軽減に関する実証事業を実施

新規 地域とともにある学校づくり推進事業

・コミュニティ・スクール講座の開催により、学校運営協議会の協働をデザインし、ファシリテートする人材の育成、機能の充実を推進

子どもの文化体験



地域と学校の協働による活動



10の重点戦略

8 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現

政策指標

勤め先が働きやすい職場であると思う市民の割合		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
64.6%	72.0%	80.0%

年次有給休暇取得率		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
54.0%	62.0%	70.0%

働き方改革など職場環境の整備

働き方改革推進事業

・企業経営者向けセミナーの開催や、働きやすい職場づくりに取り組む企業を表彰するほか、ウェブサイトを活用した広報、関係機関、経済団体等とのネットワークの活性化を推進

女性の参画拡大と男女とも仕事と家庭生活が両立できる環境整備

拡充

男性の家庭活躍推進事業

・ワーク・ライフ・バランスの推進のため、育児休業を取得した男性に奨励金を支給するほか、若年層や企業に向けたワークショップやセミナーを開催

良好な教育・保育環境の確保と質の向上

多様な保育・子育て支援サービスの充実事業

・全区での病児・病後児保育や休日保育等の実施のほか、利用可能な保育サービスの紹介等を行う保育コンシェルジュを、全区の妊娠・子育てほっとステーションに配置

社会全体で子育てを応援する機運の醸成

新規

子育てを応援するまちづくり事業

・安心して子育てできる環境や支援制度を幅広く発信するとともに、すこやかパスポート協賛店をはじめとした民間との連携強化や子育てを応援する機運の醸成に向けた取組を実施

働きやすい職場づくりに取り組む企業の表彰



10の重点戦略

9 脱炭素・循環型社会の実現

政策指標

市域から排出される温室効果ガスの削減量(平成25年度比)		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
△18.8%	現状値より削減	国の削減目標(△46%)以上

1人1日当たりごみ総排出量		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
978g	968g	948g

デジタル化・脱炭素化による競争力強化

GX実証支援事業

・市内でGXをテーマとした製品の実用化や新技術の実装に取り組む事業者へ支援

生産性向上と持続性の両立に向けたスマート農業技術の導入促進

新規

農業脱炭素・SDGs推進事業

・農業DXによる生産性・収益性の向上や、農業における脱炭素化・環境負荷低減に向けたモデル事業への支援に加え、モデル事業の全市展開や農業DXのさらなる普及への支援を実施

3Rの推進によるごみの減量

新規

脱炭素社会に向けたバイオマスプラスチック利用促進事業

・市内産のお米を原料とするバイオマスプラスチックを使用した家庭系燃やすごみ指定袋の導入のほか、市民へのプラスチックごみ削減に向けた機運醸成や環境教育の充実を推進

新規

SDGsに向けた食品ロス削減&子ども食堂支援事業

・地元農家・家庭菜園から寄付された規格外野菜等を子ども食堂へ届けて活用する仕組みづくりを支援

自然との共生

拡充

湿地等自然環境保全の推進

・ラムサール条約湿地である佐潟等の里潟の環境保全を進めるとともに、国内外に潟の魅力を広く発信

農業用ドローン



地元農家から寄付された規格外野菜



10の重点戦略

10 安心・安全で災害に強いまちづくり

政策指標

日頃から災害に対する備えをしている市民の割合		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
47.8%	63.9%	80.0%

道路(橋を含む)が適切に整備・管理されていると思う市民の割合		
現状値	R8中間目標	R12最終目標
59.9%	61.6%	63.3%

地域防災力・減災力の向上

新規 避難行動要支援者支援制度促進事業

・避難行動要支援者支援制度に関する地域向け講習会等を実施するとともに、優先度が高い要支援者について、同制度に係る個別避難計画の作成を推進

災害・事故対策の推進

通学路等の交通安全の確保

・小学校の通学路及び未就学児が日常的に集団で移動する経路において、防護柵の設置や路側帯のカラー化などの交通安全対策を実施

持続可能な維持管理体制の構築

除雪対策事業

・効率的・効果的な除雪体制を整備するとともに、担い手確保に向けた取組を実施

放射・環状型の道路ネットワークの強化

新潟中央環状道路の整備

・多核連携型の都市構造を支え、各地域拠点間の交流・連携軸となる新潟中央環状道路の整備を推進



くろさき茶豆大橋



田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市

② 物価高騰/新型コロナウイルス感染症への対応



物価高騰への対応

新規 子どもの居場所づくり支援事業

・物価高騰の影響を受けている子ども食堂に対して、食材費を補助し、子どもが安心して参加できる居場所づくりを支援

拡充 食・学び・生活応援事業

・「子どもの学習・生活支援事業」に参加している生徒とその家族に対し、物価高騰による家計の負担軽減と食生活で親子が関わる時間を確保するために、弁当配布による支援を実施

拡充 生活困窮者支援団体活動補助金

・コロナ禍における物価高騰の影響を受け、支援ニーズの高まりによる事業量増加の負担を軽減するため、自立相談支援機関と連携して生活困窮者を支援するNPO法人等の民間団体について活動経費を支援

拡充 経営支援特別融資(原油価格・物価高騰対応枠)

・融資対象者の要件を緩和し、物価高騰等の影響により今後資金繰りに支障をきたすおそれのある中小企業者を支援

子ども食堂



新型コロナウイルス感染症への対応

感染拡大防止対策

・PCR・抗原検査や患者の入院医療費の自己負担分について公費負担を実施

医療提供体制の整備

・三次救急病院の負担減のため、一般救急における緊急性の高い疾患について、二次救急病院での輪番体制を構築

児童福祉施設等感染症対策事業

・児童福祉施設等において、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続実施するために必要な経費を補助



都心のまちづくり【「にいがた2km」の覚醒】の取組



基本方針 1

人・モノ・情報の中心拠点となる稼げる都心づくり

R4年度の主な取組

- ・都心部の再開発促進(新潟駅南口西地区など)
- ・高機能オフィスビル建設に対する支援、企業誘致の促進
- ・DXプラットフォームの推進による新たなビジネス創出

新潟駅南口西地区新潟都心地域優良建築物等整備事業



R5年度の主な取組

- ・市街地再開発事業等の促進(西堀通5番町地区など)
- ・戦略的な企業誘致の推進
- ・NIIGATA XR プロジェクトの推進

フルマチXR水族館



基本方針 2

都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる新たな価値の創造

R4年度の主な取組

- ・8区と連携したVR産直市場のオープンなど
「にいがた2km×8区連携」の始動
- ・にいがた2km食花マルシェによる「食」と「花」の魅力発信



R5年度の主な取組

- ・にいがた2km魅力創造・8区連携支援補助金の創設
- ・農業脱炭素・SDGsの推進
- ・にいがた2km食花マルシェの開催



基本方針 3

居心地が良く、市民が主役になるまちづくり

R4年度の主な取組

- ・東大通“人中心の空間づくり”社会実験の実施
- ・にいがた2kmフラワーフェスタの開催
- ・にいがた2kmシェアサイクルの導入

にいがた2kmシェアサイクル



R5年度の主な取組

- ・新潟駅・万代地区周辺将来ビジョンの推進
- ・東大通“人中心の空間づくり”の推進
- ・緑のまちなか空間創造の推進

東大通“人中心の空間づくり”社会実験
「東大通みちばたりビング」





公民パートナーシップデスク for Niigata



公民パートナーシップデスク for Niigataとは

公民パートナーシップデスク for Niigataは、民間事業者のみなさまからの公民連携に向けた提案・相談などに対応するワンストップ窓口です。

人口減少時代を迎え、多様化・複雑化する社会課題に対応していくためには、都市の総力を挙げたパートナーシップ型のまちづくりを進めていく必要があります。

「活力にあふれ、持続可能な新潟市」を未来に引き継いでいけるよう、ご提案をお待ちしています。

公民パートナーシップデスク for Niigataの業務 ★政策企画部に設置

- 提案・相談などのワンストップ窓口
- 提案に関する協議
- 庁内関係課との調整
- 民間事業者と庁内関係課とのマッチング
- 提案の事業化に向けたサポート
 - ・国県等他行政機関との調整
 - ・地域団体等との調整
- 情報発信など広報協力



お寄せください、新潟の活力UPのためのご提案

【お寄せいただきたい提案】

これまで

市役所がとらえている社会課題・
地域課題の解決に向けた提案

+

NEW

民間活力を区や市の
活力につなげる提案

民間企業・団体・教育機関
(大学・専門学校)など

提案

協議

公民連携ワンストップ窓口

公民パートナーシップデスク for Niigata

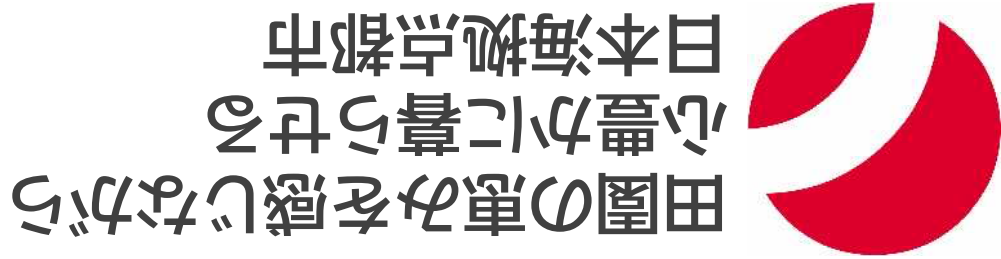
市役所もいっしょに考えます

- ◆地域のポテンシャルに着目した民間投資に対し、新潟市が連携し、区や市の活力向上へ
- ◆民間投資計画に加え、他事業者との連携や市関連事業の構築などによるプロジェクトを検討・実行
- ◆副市長をトップとした検討・推進体制を設置。構成メンバーはプロジェクトごとにふさわしい体制を整備

お問い合わせ 公民パートナーシップデスク for Niigata(政策企画部内) ※連絡先は市HPで後日お知らせします。



田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市



令和5年2月
新潟市 政策企画部 政策調整課
〒951-8550
新潟市中央区学校町通1番町602番地1
電話 025-226-2066
Fax 025-224-3850